

図書館だより

平成25年
7月19日(金)
姫島中学校
図書文化部
1学期 終業式号

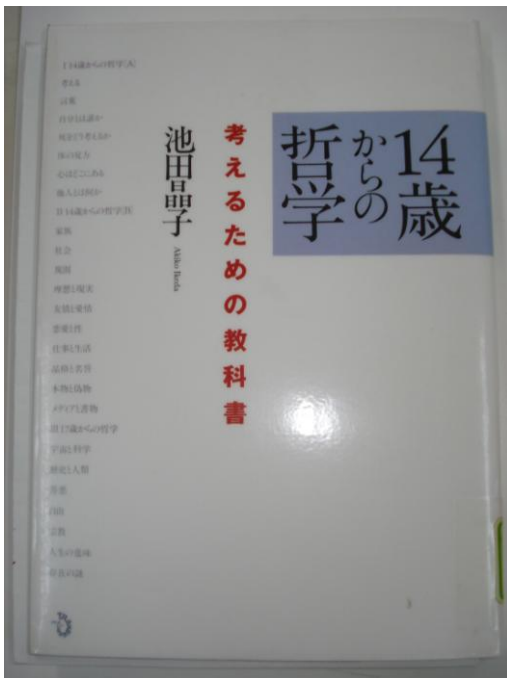
明日から 夏休み

1学期が今日で終わり、夏休みが始まります。1年生にとっては、中学生になって初めての夏休みですね。今年も、APUの学生と英語科による「学習チューター」や2・3年生の「ふるさと教室」、2年生の「水産教室」、1年生の「福祉体験教室」「漁業体験教室」など、たくさんの行事が計画されています。また、学習相談や部活動を通して頭と心と身体を鍛える夏にしましょう。



中学生の君たちに

……著者紹介…… 池田 晶子 (いけだ あきこ) 1960-2007
慶應義塾大学哲学科卒。専門用語を使わずに、日常の言語を用いて「哲学をすることはどういうことか」を語る、気鋭の哲学者。



「14歳からの哲学」
～考えるための教科書～



「14歳の君へ」
～どう考え どう生きるか～

「毎日中学生新聞」に、2005年8月から2006年3月まで、月ごとのテーマで毎週掲載したものです。同紙がその3月をもって60年の歴史を閉じ廃刊となったために、半分は書き下ろしとなっています。(中略)

前著「14歳からの哲学—考えるための教科書」では、かなり原理的なところから、ものごとの考え方を説き起こしたので、本書は、もう少し柔らかく、ある意味で読みやすく、エッセイ風に書いてみました。

2006.11

「14歳の君へ」
あとがきより